



さっちゃん通信 2016年4月1日号 Vol.130

病院ホームページ <http://www.hagicivilhp.jp/>

← レントゲンフィルム搬送係のロボット「さっちゃん」。現在、充電期間中！！

新年度を迎えて

4月になり、背中いっぱいランドセル姿の新小学1年生を見る時期となりました。大変ほほえましい光景です。

病院も職員の入れ替わりがあり、新人が勤務を開始しています。医局も医師の交代があり、担当医の変更等で患者の皆様にはしばらくの間ご迷惑をおかけします。当院は山口大学医学部の各医局より医師派遣を受けていますので、大学医局人事に従って医師の交代があります。赴任した医師たちは、大学の新しい質の高い医療を当院で実践してくれています。



萩市民病院の目標にもありますように、自己研鑽をつづけ質の高い医療を提供することが当院の使命の一つになっています。ここで何が医療の質なのかという事について簡単にのべさせていただきます。

医療の質は、「安全性、有効性、患者中心志向、適時性、効率性、公正性」の6項目について常に改善がなされている状態でその質が担保

されている」と言われています。安全性と患者中心志向につきましては、昨今のマスコミの報道等で皆様はご存じだと思います。

有効性とは医療サービスを受けることで恩恵を受けることができる人には医科学の知識にもとづいた医療を提供し、恩恵とならないと思われる人にはそのサービスを提供しない(過少、過剰な医療サービス双方を回避する)ことです。

適時性とはわかりやすく言えば、待ち時間をできるだけ少なくすることで、過日、入院・外来の皆様アンケートでのご協力をいただいたものです。現在集計中で近日中にご報告ができると思います。効率性とは資源、時間の無駄をはぶくことで、公正性とは差別をしない診療を行うことです。

これらの項目につきまして、当院の職員は一人丸となって、業務の改善に取り組みますので、患者皆様におかれましても、ご協力をお願いするとともに、お気づきの点は院内設置の御意見箱へお知らせいただければ幸いです。



本年度は2年に一度の診療報酬の改定の年でもあり、制度の変更等につきましてご不明のことがございましたら、お気軽に職員へお尋ねください。係よりご説明申し上げます。

副院長 中村 丘

萩市民病院と萩・福祉複合施設かがやきで構成される「萩・健康維新の里」は、市民の誰もがその人らしく、健康に暮らしていけるよう生活を支援するところです。

「萩・健康維新の里」理念

- 変化する社会情勢に進取の気性をもって取り組み、新しい健康の在り方を提案します。
- 現状に妥協せず、創意工夫を惜みず、暖かく思いやりのあるサービスを実践します。
- 自らの役割を明確にし、地域と連携して、保健・医療・福祉を統合したサービスを目指します。

萩市民病院の目標

- ◇ 私たちは、絶えず自分を磨き、質の高い医療を提供します。
- ◇ 私たちは、提供するサービスを説明した上で、あなたとともに医療を実践します。
- ◇ 私たちは、自分に課せられた仕事を全うし、病院事業を維持・発展させます。

Event

ひな祭りイベントを開催

3月16日(水)にCS委員会の主催で、入院されている患者の皆様とご家族を対象とした「ひな祭りイベント」を開催しました。

CS イベントでは毎回栄養科の職員による手作りのおやつがふるまわれますが、今回のイベントでは桜もちとコーヒーゼリーをご用意しました。

おなじみの「金混管(きんこんかん)バンド」の皆さんによる演奏が行われるなか、歌を歌われる方や踊られる方など、会場は大盛り上がりでした。

引き続きこのようなイベントを行い、皆様とのふれあいを大切にしていきたいと思えます。※CS=Customer Satisfaction(顧客満足)の意。



医師交代のお知らせ

3月31日付けで、内科・循環器科 安藤 みゆき 医師、整形外科 桑原 嘉一 医師、総合診療科 齊藤 裕之 医師が退職いたしました。

4月1日から、内科・循環器科に 内海 仁志(うちのうみ ひとし) 医師、整形外科に 茶川 一樹(ちやがわ かずき) 医師、小児科に 是永 優乃(これなが ゆの) 医師が着任し、診療を行います。

どうぞよろしくお願いいたします。

患者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。



《業績・研究発表会》 3月31日(木)に教育委員会の主催で業績・研究発表会を開催しました。各部署・委員会がこの1年に取り組んだ活動について、その経過や成果を報告し、さらなる取り組みの活性化につなげようというもの。発表された演題に、熱心に聞き入るとともに、活発に質問・意見等を交わしました。

地域によって異なる味 ~ 醤油

一口に醤油といっても…

古くから日本各地で生産されてきたしょうゆは、日本農林規格（JAS）によって、「こいくち」、「うすくち」、「たまり」、「さいしこみ」、「しろ」の5つに分類されています。濃口しょうゆが全流通の8割を占めますが、一口に濃口しょうゆといっても、地域によって生産方式・味に違いがあります。それぞれの地域の嗜好や醸造の歴史、その地域で収穫される食材・風土などにより、さまざまな個性を持ってそれぞれ発展し、地域性が強い調味料となっています。

地域によって違う味

九州・山口地方や北陸地方、東北地方では国内の他の地域に比べて、砂糖やアミノ酸が入った「甘み」の多いしょうゆが好まれ、よく使われています。その理由は、諸説ありますが、これらの地域に共通しているのは海が近いということ。漁師が海の上で魚を食べる時に砂糖を加えなくてもおいしく調理でき、効率が良いからではないかと言われています。

その他の地域性特徴は、薄口しょうゆを使う地域は西日本に多いことです。薄口しょうゆは、素材の色やだし風味を生かした料理に仕上げるため、色や香りを抑えたしょうゆになっています。色は薄いですが、塩分は濃口より多いため、使いすぎには要注意です。



山陰本線長門大井駅を降りて徒歩で2～3分、小高い山の中腹に円光寺穴観音古墳があります。

この古墳は、古墳時代の6世紀末から7世紀初頭に築造されたものといわれ、1971年に萩市指定史跡となっています。

前室・後室からなる複室構造で奥行き約9m、石積みに用いてある石の中には高さ1.4m、横3mに及ぶものもあり、北浦地方最大規模の横穴式石室です。当時の豪族「阿武国造」か「阿牟君一族」の墓ではないかと考えられています。

小さい頃、同地域に住んでいた私は、子供会の活動で古墳の周囲の清掃を行っていました。石室の前が少し広い広場になっていて、周囲はうっそうとした樹木に囲まれていたため、広場の落ち葉の除去が主な仕事だったように覚えています。秋には、椎の実を拾って食べる楽しみもありましたが、昼間でも薄暗く、石室の奥にはお地蔵様が祀っており、子供心に少し怖かった印象も残っています。

事務部長 阿武 利明



萩市民病院 外来診療担当医師一覧

平成28年4月1日現在

受付時間
午前8:30~11:30/午後13:00~16:30
診療時間
午前8:45~12:00/午後13:30~17:00

外来診療は基本的に「予約制」です。
なお小児科専門外来は、既に診断がついて他院の紹介状をお持ちの方を除いては、まず午前中の一般外来を受診していただき、必要な検査等を行った上で専門外来へ院内紹介をいたします。
いずれの場合も救急・急患はこの限りではありません。

診療科	時間帯	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	循環器内科 呼吸器内科	午前	米澤 文雄	米澤 文雄	内海 仁志	刀禰 尚	米澤 文雄
			内海 仁志	刀禰 尚	中村 武史	内海 仁志	内田 耕資
			中村 武史	内田 耕資		内田 耕資	中村 武史
	午後						
	神経内科	午前					佐野 泰照(大学)
	消化器内科	午前	松本 賢治	松本 賢治	中村 宗剛	松本 賢治	中村 宗剛
						藤原 真一	
糖尿病外来	午前/午後			幡中 雅行(大学)			
小児科	一般外来	午前	真方 浩行	真方 浩行(隔週)	真方 浩行	真方 浩行	真方 浩行
			是永 優乃	是永 優乃(隔週)	是永 優乃	是永 優乃	是永 優乃
	※専門外来	午後	腎臓(第3) (白石)	神経(第1・3・4) 午前・午後(伊住)		心臓 (第3・鈴木)	アレルギー (第2・4) (真方)
外科 (午後は手術)	午前初診	中村 丘	坂野 尚	中村 丘	坂野 尚	工藤 淳一	
	午前再診			工藤 淳一	中村 丘	坂野 尚	
整形外科 (午後は手術)	午前初診	藤本 和弘	手術のため休診	藤本 和弘	藤本 和弘	茶川 一樹	
	午前再診	茶川 一樹		茶川 一樹	茶川 一樹		
放射線科検査	終日	米城 秀	米城 秀	米城 秀	米城 秀	米城 秀	
麻酔科 (ペインクリニック)	午前		原田 英宜(大学)				
内視鏡検査	午前/午後	仁志麻衣子(大学)	中村 宗剛	松本 賢治	中村 宗剛 佐伯 一成(大学)	篠田 崇平(大学)	

※ 午後からの内科外来は、専門外来のみとなっています。初診の方は電話予約のうえ、午前中の総合診療科・内科外来を受診されますようお願いいたします。なお、救急・急患についてはこの限りではありません。

※ 膠原病外来、糖尿病外来、麻酔科、及び大学の内科非常勤医師の診察は院内紹介のみです。初診あるいは他院からの直接の紹介は受けつけておりませんので、予めご了承下さい。

萩市民病院 予約センター 電話(0838)25-1235 ※土・日・祝日を除く月~金 8:30~17:00受付

朝は電話が混み合います。つながりにくい場合は、お手数ですが時間を置いておかけ直し下さい。
また、おかけ間違いのないよう十分にご注意願います。

他の医療機関からの受診の際は、紹介状をお持ちいただきますよう、よろしくお願いいたします。



さっちゃん通信ぼやきコーナー
(編集後記)

先日、笠山で開催されていた椿まつりが終わりを迎えました。

今年は椿の開花が早く、2月下旬頃には既に椿の花が少なくなっていたとのことですが、私が椿まつりに参加した3月下旬にも、まだまだ椿の花は残っていました。満開時期に比べると椿の花の少なさは否めませんが、少数の椿が濃緑に映え、満開の時期とはまた違った姿を見

せていました。また、道々に落ちた椿の花は状態がよく、地から花を咲かせ、その姿を見せたような雰囲気を漂わせていました。

花が少なくともその風情を感じさせる椿の凛とした姿に心惹かれながら、カメラのシャッターを押し、記録として残すのですが、どんなに上手く撮れたと思っても、直接目に映った感動までは写せないのだと悟ってしまいます。それは日々の生活での出来事も同じなのかな、と思いつつ、そのとき感じた心の動きを大切にしながら、日々過ごしていきたいと思うのでした。 【平野】